

令和元年度 第 11 回とやま建設フォトコンテスト

総 評

富山県民の生活に欠かすことの出来ない安心安全を担う建設業の重要な役割や、近年の災害を見るに付けダム・河川・堤防・や建設構造物・道路・通信などのライフラインの重要性は計り知れません。

当コンテストは写真で伝える建設業の魅力を募集して 11 回目を迎えました。

応募者は 16 歳から 85 歳までの幅広い年齢層から 58 名・118 点の応募を頂きました。

入賞作品は当コンテストのテーマに合致し且つ理解して応募された作品を、5 名の審査員の目で選び、働く楽しさ、物づくりや絆など熱く語りかけて来る作品が選ばれました。

沢山の素敵な作品の応募を頂き感謝いたします。

審査委員長 一ノ谷 敏治 （富山県写真連盟委員長）



特 選

【相棒】 山田 正昭（撮影場所:富山市）

建設現場での若い仲間との“ツーショット”写真ですが、肩に手を掛けているのは先輩だろうか！

【相棒】という題名が全てを物語っています。腰に付けている安全の為のセーフティーワイヤー等は危険と隣り合わせの現場だと思います。頼りになる仲間との絆が伝わって来る笑顔の素敵な作品です。

働く人部門賞

【花の道】水野 敬雄

（撮影場所：砺波市）

こんなにも穏やかに見える作業現場はうらやましく見えます。満開の菖蒲園で天気は良いのですが、作業員の表情は真剣そのものです。老若男女が歩く木道の補修作業はミスがあってはなりません。



物づくり部門賞

【重機集結】杉山 邦雄

（撮影場所：富山市）

重機の多さが急を要する工事の様子が伝わってきます。

神通川左岸堤防欠損による復旧工事です。24 時間体制で実施、昼夜連続 119 時間の作業の様子がネットで見る事が出来ました。

治水の緊迫感・重要性が伝わって来る作品です。



絆部門賞

【雲上の現場】大黒 孝之

（撮影場所：中新川郡）

工事現場は室堂山展望台です。標高 2675m に建てる携帯基地局の設営ですが、富山県最大の観光地立山は携帯・Wi-Fi は外国人を迎える為の必要不可欠な工事であり、何よりも山の安全にも重要な役割を果たします。

写真は下界に広がる雲海を見入る作業員の歓声が聞こえて来る作品です。

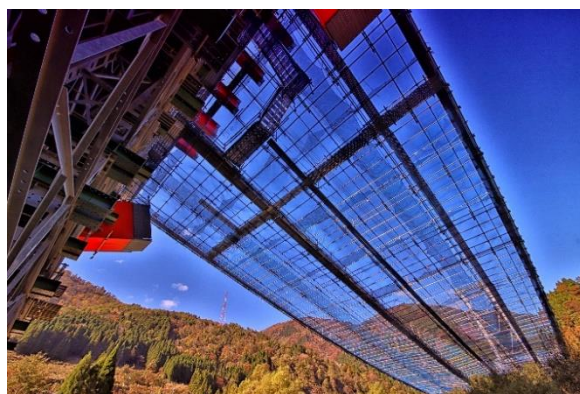


佳 作**【翔びたとう富河鉄道】中瀬 益雄
（撮影場所：富山市）**

富山ライトレールと富山地方鉄道の南北接続・直通運転が令和2年3月21日開始されますが、富山県や富山市待望の工事現場の写真です。M文字ポイントの伸びる構図の扱い方が上手く、コンパクトシティ戦略に欠かせない近代都市富山の作品に仕上がっています。

**佳 作****【紅葉の中の橋造り】藤牧 隆夫
（撮影場所：富山市）**

神通川に架ける橋を、紅葉の季節に真っ青な空に抜いた構図は見事です。完成すれば国道41号線の安全と利便性が期待されます。また上から撮ることが一般的な被写体を、下からのアングルで狙った作者の非凡さが力強い作品にしています。

**佳 作****【未来に向かって】田畑 智伊
（撮影場所：射水市）**

工事現場見学会に参加した高校生を、仲間ゆえカメラを意識しないで撮れたのかと思う作品に仕上がっています。現場を見入る彼女の真剣な目線の先は、驚きの光景でしょうか？それとも自分の将来まで見ているかの様に思えるのは、関係者の思い過ごしでしょうか...

**佳 作****【竣工検査】沖 昭夫
（撮影場所：射水市）**

竣工検査と言う名の工事最終チェックの写真です。施工業者の集大成の時でしょう。

標尺を持つ人と計測する検査官の間にいる施工業者が小さく写っていますが緊張している様に見えます。画面右の空間に文字を入れるとポスターに使いそうなシンプルな写真です。



第 11 回とやま建設フォトコンテスト概要

募集時期 令和元年 9 月～令和 2 年 1 月

主 催 (一社)富山県建設業協会

後 援 富山県、富山県建設産業団体連合会、
東日本建設業保証(株)富山支店

応募点数 118 点

入賞作品 8 作品

募集部門

- 働く人部門……建設業で働く人々が、いきいきと誇りを持って物づくりに携わる姿等をとらえた作品
- 物づくり部門…建造物や建設機械などを対象に、建設産業のスケールの大きさや重要性等をとらえた作品。
- 絆部門………除雪活動や防災対策など、建設業と地域のつながり、人々の安心安全を守るために担っている役割・活動をとらえた作品